



Japan Society for Tobacco Control

日本禁煙学会

<http://www.jstc.or.jp/> E-mail desk@nosmoke55.jp
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201
Tel 03-5360-8233 FAX 03-5360-6736

日本禁煙学会 声明

米国 FDA は IQOS の「科学的検証データ」を リスク低減タバコ製品と認めているわけではない

2020年8月8日

一般社団法人 日本禁煙学会 理事長 作田 学

2019年4月にFDA（米国食品医薬品局）はIQOS（アイコス）の米国内での市販を許可しました。

フィリップモリス（PM）はIQOSを数年前からMRTP（リスク低減タバコ製品）として認めるように要請しており、FDAはその審査の一環としてModified Exposure Tobacco Products(METP)=曝露低減タバコ製品の可能性があるとして2020年7月7日に販売を認めました。

しかしながら、PMが世界各国で宣伝・広告しているようにはFDAがIQOSの「科学的検証データ」を、「リスク低減タバコ製品」として認めたわけではありません。

本当にリスクが低減しているかどうかは、今後の調査に待つこととなります。また、普通のタバコと両者を併用している人、未成年の使用などについても検討を重ねていくこととなります。

そもそも曝露低減かどうかは世界保健機関（WHO）を含め、多くの専門家に疑問視されています。たしかに減っている毒物がありますが、増えているものも多いのです。これをもってどうして曝露低減と言えるのか疑問が残ります。

WHOの声明¹⁾にありますように、米国FDAの声明²⁾は「FDAがこの製品の販売を承認したからといって、この製品が安全であるとか『FDAがお墨付きを与えた』ということではない。FDAが有害物質低減命令を企業に出したからといって、その企業が、それによって害が減るとか、消費者にその製品が安全であるとFDAが認めたとか、そう思い込ませるように誤ったメッセージを出したり、その製品を使用することで健康被害がないとFDAが認めたと宣伝することは許されない」のです。

1) 加熱式タバコおよびFDAのアイコスに関する決定に対するWHOステートメント
http://www.jstc.or.jp/uploads/uploads/files/information/WHO20_7_22.pdf

2) FDA の IQOS に関する声明 2020/7/7

<http://www.jstc.or.jp/uploads/uploads/files/FDA20200808.pdf>